

平成 18 年 11 月 9 日

東京都板橋区小豆沢 3-6-10

オリエンタル酵母工業株式会社

オリエンタル酵母工業 第 121 期連結中間決算発表

売上高は 305 億 11 百万円（前年同期比 3.2%増）と過去最高を記録し、
経常利益は 10 億 68 百万円（前年同期比 2.0%増）で増収増益に

平成 19 年 3 月期 連結中間決算

オリエンタル酵母工業株式会社の平成 19 年 3 月期連結中間決算につきまして、売上高は過去最高を記録し、経常利益も前年実績を上回りました。

食品部門は、新製品や新メニューを総合的に提案する P & B センターの有効活用による売上拡大と、生産の効率化や省エネ等の設備投資や業務改善によるコスト吸収を進めてまいりました。バイオ部門は、本年 3 月長浜生物科学研究所に開設いたしましたバイオイノベーションセンターで遺伝子・細胞・動物 3 分野の研究開発を一元化し効率化とスピードアップを図るとともに、ラボラトリーアニマルサイエンス事業の業容を拡大いたしました。また長浜ライフサイエンスラボラトリーでは、食品分析検査事業を拡充いたしました。

売上高につきましては、食品部門ではイースト、マヨネーズ・総菜など製パン用資材やミネラル酵母類が好調に推移し、前年を上回りました。バイオ部門は実験動物関連や受託試験・受託飼育などの研究支援サービス事業が順調に推移いたしましたが、養魚用飼料は需要低迷の影響を免れず前年を下回りました。

その結果、売上高は 305 億 11 百万円（前年同期比 3.2%増）と過去最高を更新し、経常利益も 10 億 68 百万円（前年同期比 2.0%増）と増益になりましたが、中間純利益は 5 億 86 百万円（前年同期比 0.6%減）となりました。

平成 19 年 3 月期 今期連結業績予想

平成 19 年 3 月期におきましては、引き続き既存事業の収益基盤強化に加え、新製品・新技術の活用により拡販を図るとともに効率的な生産体制を推進し、尚一層の企業価値の極大化を図ってまいります。

連結業績につきましては、売上高は 623 億円(前期比 3.7%増)と過去最高を更新する見込みで、経常利益は 26 億 40 百万円(前期比 1.2%増)、当期純利益は 15 億円(前期比 0.4%増)と増収増益を予想しております。

以上